

福井

## 外国人材の活用を支援 相談窓口を商工会議所内に開設

福井商工会議所は4月15日、外国人の雇用を目指す企業向けに「外国人労働者雇用支援相談窓口」を同所中小企業総合支援センター内に開設した。中小企業の人手不足が業種・規模を問わず深刻化する中、福井県内では外国人技能実習生らを活用する企業が増加しており、今後も即戦力となる外国人材の受け入れに対する企業の関心やニーズは高まることが見込まれている。

同所はこれまでも外国人雇用に関するさまざまな相談を受け対応してきたが、4月の改正出入国管



▲受け付けは平日午前8時30分～午後5時



◀外国人材受け入れについて初歩的なことから相談できる

活用をサポートしていく予定だ。同相談窓口の開設以来、県内の企業や商工会などからの問い合わせも相次いでいるという。同所は「可能な限り相談に対応する。窓口の周知を図るべくPRを推進していく」と話している。

理法の施行を機に、専門の相談窓口を設けて本格的に支援を開始することとした。相談受け付けは、平日午前8時30分から午後5時まで。相談には同所職員の中小企業診断士、社会保険労務士が対応するほか、必要に応じて弁護士や行政書士ら専門相談員との相談機会も設ける。

今後は、留学生と企業との面談会や外国人材受け入れに関するセミナーの開催、研修用DVDの貸し出し、海外の送り出し機関の視察なども実施するほか、県や福井労働局などとも連携し、外国人材活用をサポートしていく予定だ。

横須賀（神奈川県）

## 外国人向け飲食店・小売店ガイド発行 観光情報や日本文化も紹介

横須賀商工会議所は、米海軍ビジネス交流事業の一環として、外国人向けに横須賀市内の飲食店・小売店などの情報をまとめた英文ガイドブック「Restaurants & Shops Information 2019」を3月に発行した。同市では市内に居住する外国人や米海軍関係者が多いことから、外国人に向けて地域の店舗情報の周知と利用促進を図るのが狙いだ。

冊子には、積極的に外国人客を迎えたい店100店舗以上の情報を写真や地図と併せて掲載。観光情報や日本の文化に関するコラムなども設け、横須賀での生活に役立つ情報を豊富に盛り込んだ。

制作に当たっては、米海軍横須賀基地との交流を通じて意見を聞き、外国人が見やすい誌面づくりを心掛けた。A4判24ページで4千部を作成。米海軍横須賀基地、京急線横須賀



▲「Restaurants & Shops Information 2019」表紙と誌面の一例。外国人が見やすいよう誌面づくりを工夫した



◀英語版観光サイト「YOKOSUKA 1CHIBAN」はこちら

有田（佐賀県）

## 独自の補助金制度を創設 会員事業者の販路開拓などサポート

有田商工会議所は、同所の会員事業者を対象とした独自の補助金制度「ふるさと企業応援補助金」を創設した。同補助金は、有田町内の会員事業者の販路開拓やものづくり、人材育成など「持続的な発展に寄与する事業」の費用の一部を補助するもので、産業の活性化を図る狙いがある。

同様の補助金制度には国の小規模事業者持続化補助金などがあるが、補助事業実施期間が数カ月と限定されており、地場産業である陶磁器の展示会など期間外の事業

には活用できない。こうした期間外の事業も支援しようと同所は独自の補助金制度を創設、実施期間を1年間とした。財源には、同所が町から受託する「ふるさと納税事業」（新規事業者の発掘や返礼品開発）の委託費などを充てる。同補助金制度は、20万円を限度に事業費の3分の2を補助するもので、4月22日～5月31日に募集を実施。事業計画を審査の上、6月中旬に採択事業者を発表する予定だ。実施期間は7月1日から来年6月30日まで。初年度は10件程度を採択し、今後採択件数を増やしていくという。

同所は、ふるさと納税事業と同補助金制度を組み合わせることで、有田町の活性化サイクルをさらに強化していく考えだ。



## 熱海お仕事図鑑

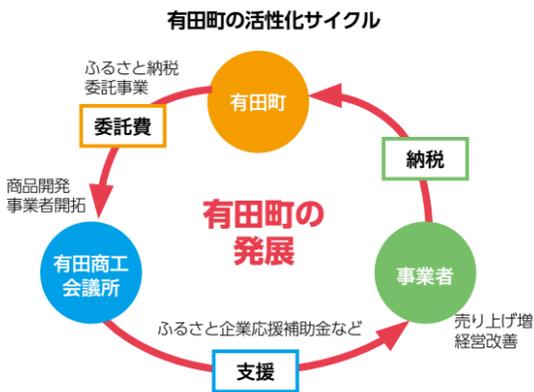
人・自然・地域に響きあふれる熱海

▲宿泊業に特化した求人プロモーションページ「熱海お仕事図鑑」



◀熱海お仕事図鑑の詳細はこちら

また、同サイトの閲覧を促すためフェイスブックなどSNS（会員制交流サイト）に広告を掲載し、積極的なPR活動も推進している。今回の取り組みにおける反響を見て、同所は今後、他業種においても同様のプロモーションを展開することを検討する。



▲独自の補助金で中小企業を支援